

平成29年度 北海道サッカー協会 女子審判研修会② 報告書

北海道紋別高等学校 安藤 厘佳

○大会名 平成29年度第20回北海道女子ユース(U-18)サッカー選手権大会
兼JOCジュニアオリンピックカップ第21回全日本女子ユース(U-18)
サッカー選手権大会北海道予選

○日時 平成29年10月14日(土)～15日(日)

○場所 小樽市望洋サッカー・ラグビー場

○日程

1日目

9:00 開講式

「大会要項の確認」「競技規則改正」「フィールドチェックの方法」

「打ち合わせの方法」「第4の審判員の仕事」「副審のシグナルと動き」

11:00 1回戦 第1試合 見学

12:00 マッチコミッショナーミーティング、審判打ち合わせ

13:00 1回戦 第2試合

北海道リラ・コンサドーレ 対 レファFC 第4の審判員

15:30 講義

「1・2回戦フィードバック」「ポジショニング」

「FKのマネジメント」「ユース審判について」

「VTR(レフェリーキャラバン・審判育成・女子レフェリー)」

「INS育成研修を終えて」「女子審判員の目標」

2日目

8:00 フィールドチェック

10:00 準決勝 見学

11:30 準決勝フィードバック

13:30 決勝 見学

15:00 決勝フィードバック

今後の予定

16:00 閉講式



○感想

本研修会で、第4審判を主に担当させていただきました。いつもの地区大会の試合より交代が一気に4人~5人手続きにきて、かなりバタついたり、交代時にレフェリーが逆サイドを見ていて、こちら側に気付かずにアウトオブプレーになり、すぐスローインで始めたために、交代する選手を素早くフィールドに入れてあげることができませんでした。アウトオブプレーになってもレフェリーが気づかないときは、「レフェリー！」と、声をかけてアピールすることを学び、反省しています。

ベンチが多少声を荒げる時があったのですが、その時はうまく声かけをすることができベンチコントロールすることができました。いつもの試合では経験できないことが経験でき、有意義な研修でした。

講義にも参加させていただきました。そこで大岩さんがワールドカップで審判を担当した話や、現在全国・世界で活躍してるレフェリーの方々のことを知ることができ、私自身も更に技術的・精神的に成長したいと思いました。講義中、「ウェルフェアオフィサー」など、知らない言葉を知ることができ、自分が知らないサッカーの世界がまだまだあり、もっと様々な角度でサッカーに触れ、サッカーを知りたいという気持ちになりました。研修会を通じて、大学進学後も3級や2級を目指し努力していきたいと思いました。

ちなみに北海道女子審判活動の目標は、

『5R~一步一步着実に~』です！

5Rとは、Rising=上昇、Respect=尊敬、Referee=審判、Retry=再試行、Receive=支えるです。プレーも審判も1人ではできない、みんなで支えあって行っているということです。これからも精一杯学んでいきます。今後ともよろしく願いいたします。

